

著者紹介

宮地 茂 Shigeru Miyachi

愛知医科大学脳神経外科主任教授、医学博士。

1983年3月名古屋大学医学部卒業、1983年4月名古屋掖済会病院勤務、1988年6月名古屋大学医学部附属病院勤務、1991年12月豊橋市民病院医長、1993年8月ナンシー大学(フランス)神経放射線科留学、1994年7月名古屋掖済会病院医長、1997年5月名古屋大学医学部脳神経外科助手、1999年4月同大学院医学系研究科脳神経病態制御学助教授、2007年4月同大学院医学系研究科脳神経病態制御学准教授、2014年7月大阪医科大学脳神経外科・脳血管内治療科准教授(脳血管内治療科長)、2017年4月愛知医科大学脳血管内治療センター特任教授(センター長)、2017年11月愛知医科大学脳血管内治療センター教授(センター長)、2019年4月愛知医科大学脳神経外科主任教授

専門分野：実験的動脈瘤に対する各種治療の病理学的検討、動脈瘤に対する新しい血管内治療法の開発、実験的動脈瘤の血流解析、塞栓用コイルの特性の解析、動静脈シャントモデルの病態解析、脳血管内治療へのロボティクスの応用、ステントアシストにおける脳動脈瘤に対する新しい治療技術の開発、硬膜動静脈瘻の成因と分類について、定位放射線治療の前処置としての塞栓術の有用性、頸動脈狭窄に対するステント留置術の安全性と有効性の検討、血栓回収療法における天気改善のためのプロジェクト(愛知モデル)

所属学会：日本脳神経外科学会、日本脳神経血管内治療学会、日本脳卒中学会

三浦 久幸 Hisayuki Miura

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター在宅連携医療部長、医学博士。

1993年名古屋大学大学院医学研究科修了、1994年岡崎国立共同研究機構生理学研究所助手、1995年名古屋大学医学部老年科入局、2004年国立長寿医療センター外来診療部外来総合診療科医長、2011年同センター在宅医療支援診療部長、2012年独立行政法人国立長寿医療研究センター在宅連携医療部長、2015年国立研究開発法人国立長寿医療研究センター在宅連携医療部長、2016年同センター在宅医療・地域連携診療部長併任

研究歴：2007年に国立長寿医療センターにて事前指示書を開始、2012年度厚生労働省「多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業」及び「在宅医療連携拠点事業」事務局、2014・15年度厚生労働省「人生の最終段階における医療体制整備事業」評価実施機関事務局、現在日本アドバンス・ケア・プランニング研究会代表世話人

専門分野：老年医学、在宅医学、医療倫理学、糖尿病学

所属学会：日本老年医学会、日本在宅医療学会、日本臨床倫理学会

角田 圭雄 Yoshio Sumida

愛知医科大学内科学講座肝胆膵内科学准教授(特任)、一般社団法人日本医療戦略研究センター代表理事、医学博士、医療経営学修士。

1995年京都府立医科大学卒業第3内科入局、1996-1998年市立福知山市市民病院内科、2002年京都府立医科大学大学院医学研究科博士(医学)取得、2008年4月市立奈良病院消化器科部長、2012年4月京都府立医科大学大学院生体食品機能学講座講師、2013年4月京都府庁統括産業医、2014年4月京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学講師、2015年11月英国国立ウェールズ大学経営大学院、MBA in Healthcare Management(医療経営学修士)取得、2016年10月愛知医科大学内科学講座肝胆膵内科学准教授(特任)

専門分野：肝臓病学、とくに非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)に関する臨床研究を行っており、全国の共同研究グループJapan Study Group of NAFLDの立ち上げに関わる。非侵襲的診断法、遺伝子多型、薬物療法などの研究を継続中。MBAホルダーとしての医師の働き方改革に関する研究も行っている。
所属学会：日本肝臓学会、日本消化器病学会、日本内科学会